黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長: バリー・ラシン 第 2550 地区ガバナー: 伊東 永峯 事務所: 〒325-0826 宇都宮市西原町 142 宇都宮グランドホテル内

于郁呂クラフトホテル TEL: 028-651-2550 FAX: 028-651-2551

E-mail: m2550@agate.plala.or.jp



会 長:村山 茂 幹 事:植竹 一裕 事務局:(株)植竹虎太商店内 植竹 一裕 〒325-0056 那須塩原市本町 6-5 TEL:0287-62-1123・FAX:0287-63-9228 E-mail: k.uetake@coral.plala.or.jp 例 会:国民の祝日を含まない週の水曜日 12:30 - 13:30 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2847回 村山年度 第30回 会報 2019 4-24 司会 荒牧明二君

◎ 会長挨拶 村山茂会長



皆様、今日は。本日は、昨日行われました故板 橋敏雄様(足利東RC)の葬儀・告別式についてご 報告いたします。

平成31年4月23日(火)午前10時30分より、足利市民会館にて、喪主に板橋律子様、施主に(株)板通 代表取締役社長 板橋信之様による社葬として行われました。享年88歳でございました。皆様を代表して参列してまいりましたが、会場は黒磯文化会館ほどですが、満席状態でございました。弔辞は茂木敏充経済再生担当大臣、和泉 聡足利市長、小林辰興栃木県経済同友会 筆頭代表理事、早川慶治郎足利商工会議所会頭、渡辺好政ロータリー日本財団副理事長、新里元二友人代表の6名の方が、思いを込めたお別れの辞を述べられ、板橋敏雄様のお人柄が偲ばれました。

板橋様は、様々な職歴、公職を担われましたが、 本日は輝かしいロータリー歴についてご案内いた します。

- 1973年7月 足利東ロータリークラブ会長
- 1987年7月 RI255地区(栃木·茨木)ガバナー
- 2001年7月 国際ロータリー理事
- 2006年7月 RI会長エレクト諮問委員会委員
- 2010年7月 公益財団法人ロータリー日本財団 評議員

○ 2012年7月 公益財団法人ロータリー米山記念 奨学会 理事長

正に、国際ロータリー第2550地区を代表するロータリアンでございました。皆様とともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。

ここでポール・ハリス語録の中から「過ぎしときに 敬意を表して」とのサブタイトルガついた文章をご 紹介します。

「今から100年後にロータリーはどうなっているでしょうか?生きている人には想像もつきません。現在のロータリーにとって不可能なことはありません。私はロータリーは生き続けると信じています。生きているなら、発展するでしょう。いつか現在の会員資格によって課せられる責務を遂行できなくなるときがきます(私たちは、冷酷な掟に従い、年老いていくに違いありません)。そのとき私たちはどうするでしょうか?退会しますか?多分退会しないでしょう。もし退会しなければ、大いなるロータリーの夜明けが多分そのとき来るでしょう。」

ロータリアン誌1915年2月号 以上、本日のご挨拶といたします。ご清聴有難う ございました。

◎ 幹事報告 植竹一裕幹事



村山年度第14回理事•役員会報告

出席報告 出席委員会 齋藤幸夫君

(出席規定の免除会員数7名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日 4月24日	37 (7)	29 (4)	8 (3)	85. 2%		
前回 4月10日	37 (7)	31 (4)	6 (3)	91.1%	0	91.1%

- 5月度スケジュールの件 原案通り承認
- 新旧理事役員及び委員会引継ぎ会開催の件 6月7日(金)割烹石山 18:30開催で承認
- 2019-20年度ロータリー財団地区補助金の件 那須塩原市市内小学校を対象として
 - 1. 低学年用視力検査用機材
 - 2. 英語教育教材

総額¥283,493(うち黒磯クラブとして¥56,698) で補助金申請として承認

● 板橋敏雄様(元国際RI理事)への香典・生花の 件

それぞれ¥10,000・¥16,200で承認

- 国際交流協会会費の件 例年通り¥10,000で承認
- 被害者支援センターとちぎ賛助会会費の件 例年通り¥10,000で承認
- 次年度地区研修・協議会参加の件 参加人数9名×¥4,000+バス代の支出で承認
- ◆ 社会奉仕委員会事業の件
 - 1. 足尾記念植樹青少年奉仕委員会と合同でバス代支出する件 承認
 - 2. 那珂川水質調査の件 参加人数12~13名 留学生も参加との報告

村山年度第30回幹事報告

- ガバナー事務所よりハイライトよねやま229が届きました。回覧致します。
- 日本赤十字社より寄付に対する礼状と活動報告が届きました。回覧しております。
- 大田原RCよりIMの報告書が届きましたのでお 配り致しました。

🥸 委員会報告 大島三千三副会長



皆様こんにちは、委員会報告を受け付けますので、報告のある委員会は報告願います。

● 社会奉仕委員会 委員長 藤﨑善隆君

今週土曜日、4月27日は足尾植樹の日です。バスは7時30分石山さんを出発です。遅れないようにお集まり下さい。

5月の那珂川水質調査ですが、コースを相馬さま

とご相談の上、参加希望の皆さまにメールにてご 案内させて頂きます。ご確認下さい。



吉光寺年度第1回理事役員会報告 去る10日に行われました、次年度の理事役員会 のご報告です。

- ① 次年度の理事役員会担当職務及び組織編成につきましては、広報委員会の取扱について継続審議となりましたが、その他全てご承認を頂きました。詳細は次回理事会後にご報告させて頂きます。
- ② 吉光寺次期会長より、今年度のガバナー公式 訪問は10月2日水曜日とご報告がありました。

!! ニコニコボックス 相馬征志君



村 山 茂 君 今朝、タラの芽を収穫しました。

植 竹 一 裕 君 田植えの季節です。水不足 が心配です。今夜の雨が恵

みの雨になって欲しいです

田中徹君本日、卓話です。

◎ 卓話 ロータリー情報委員会 委員長 田中徹君

本年度は鈴木久雄会員、小野安正会員と私田 中徹の3名が配属されました。

年に一度のお勉めである卓話、心優しい二人の メンバーに甘え私が担当することになりました。 田 中では・・と食後の睡魔と闘う事を諦める方々はどう ぞ。 さて、先週の木曜日(4/18)在籍期間の短い会員さんをメインに炉辺会を開催致しました。



ロータリーのあれこれについては幸いな事に村 山会長が会長挨拶の時間を割いてお話になって おられますので割愛し当黒磯クラブの変遷を相馬 征志会員にお願いを致しました。

ということで参加された方々に5分程度で感想を話して頂く予定でしたがここでも心優しいロータリアン"年に一度の貴重な時間ですからどうぞ委員長が"・・とでも言いたそうな眼差しで「えーと、来週の予定は・・」とスケジュールを開きはじめる始末。単に演壇に立ちたくないのか、委員長である私を気遣ってくれているのか、結論は先送りしておきます。まずは代表して泉会員に炉辺会の感想を話して頂きます。

時間がありますので、極めて浅学の私としては本 業を題材とせざるを得ない事になります。

これで増々睡魔と闘う意思は薄れていくでしょう。これは話し手にとっても喜ばしい事であります。・・と、此処までは話しべ夕の定番の言い訳で更にダメ押しをするならば"ロータリーの友情に免じて・・"と続ければ完璧です。

私が生業としております金属表面処理(鍍金)ですが日本においては何時頃どの地方でどんなものに・・この辺は以前にお話をさせて頂きましたので統計の数字をご紹介致します。・・・当然ながら鍍金関連のです。

我々の業界は昭和27年(全国鍍金工業組合連合会)に全国で

昭和27年1,251社・社員数15,237名おりましたが 昭和35年2,000社・32,724名

昭和47年3,055社•41,182名

平成28年1,111社・28,880名となりました。

出荷額は

昭和27年に1,251社・15,237名・4,601百万円 平成元年に 2,614社・41,465名・521,374百万円 平成28年に1,111社・28,880名・428,880百万円

※このデータは4人以上企業をカウント、社内鍍金は除外しています。

ちなみに栃木県での企業数は

昭和50年44社

平成元年33社

平成30年18社

記録の残っている昭和27年から平成28年までをみると

昭和27年に1,251社・15,237名・4,601百万円 平成28年に1,111社・28,880名・428,880百万円 企業数は減少しているにもかかわらず出荷額は飛 躍的に伸び従事する社員数も平成元年には4万 人を超えたこともありましたが何とか持ちこたえています。

1986年のバブル景気の後、2008年のリーマンショック、加えて土壌汚染防止法の制定、水質汚濁防止法での管理項目追加などなど自助努力では乗り切れない事が多くありました。

まあ、こんな世界で生きていますから「隣の芝生は何とやら・・」と思う時が多々ありました。それぞれの企業さんも多くの悩みを抱えておられることは十分に承知していると思います。

私が会社を引き継いでそろそろ40年になりますがいろいろな屈辱を味わってきました。大半は下請けであるが故に我慢しなければならないものでしたが、たった一度忘れてはならない屈辱を味わいました。ご存知のリーマンショックでした。

全国統計では平成20年には5,451億あったのが翌年には3,777億と30%もの減少でした。2年後には4,000億前半まで回復したものの5,000億台までの回復は夢のまた夢です。弊社も同様に受注が半減し回復の見通しの無い状況に陥りました。

一年間は何とか預貯金を崩しながら耐えてきましたが二年目になると社員の給与を確保するのが難しくパートさん2名と社員3名を解雇せざるを得ませんでした。(但し、この5名は65歳を超えており年金受給が可能な社員です。)

この5名の社員を前に「誠に申し訳ない、貴方方の雇用を継続することが出来なくなりました。」と伝えた時の屈辱は今でも忘れられません。出社しても与える仕事が無い、もちろん主要取引先の減産に伴うものではあるものの社員に責任は無いのです。

共通の取引先を持つ会社が「○○協力会」というものを1980年に設立し8年前に役目が終わったと解散致しました。取引先に協力するというより足りないものを補いあう関係になったとの理由からです。その協力会の生き残りが昨夜久しぶりに懇親会を開きました。若手は65歳、最高齢が84歳の集まりです。

会が解散してから時折集まっておりましたが多数 の仲間が消えていきました。残ったのは9社のみで すが集まればクラス会や同窓会と同じ雰囲気となり ます。

我々ロータリアンもそうなれば・・と切に願っています。ロータリー活動の中でどんなことに価値を見出すことが出来るか?ロータリークラブに身を置いてよかったと思える事を見つけて下さい。 そして行動をしてください。

● 泉道夫君



皆さん、こんにちは。去る4月18日情報委員会田中委員長、鈴木副委員長のお骨折りにより3年未満の会員を対象とした炉辺会議にお招きをいただきまして、誠にありがとうございました。

その席上で、相馬征志様にはロータリーの起源や理念という深いところまでご教示をいただきまして誠にありがとうございました。ロータリーの始まりは会員同士で協力し合って仕事をするということでしたが、のちには、社会公共の福祉に貢献をする奉仕を中心に活動をされてきたと伺いました。

そして、いかにも奉仕活動をしているということではなく、控えめに活動をしてこられたと伺いました。しかし、これからは少しずつ外部に広報していくことも必要かなというお話でした。その後の質問に対しましては、秋間様にお答えを頂いたりと有意義な時間を持てました。

私は、平成29年10月に入会してから1年と6カ月になりました。翌年の1月31日には職業奉仕委員会により、弊社ホテルのレストランで昼食後、客室を見学していただいたり、3月14日には東京ロータリークラブに参加後、靖国神社参拝、遊就館見学、翌4月25日は出席委員会の卓話、そして今回と中身の濃い1年6カ月になりました。これからも、いろいろ学んでいければと思っておりますので、宜しくお願い致します。

● 青少年委奉仕員会 委員長 安藤譲治君



国際ロータリー第2550地区のインターアクトクラブで台湾への海外研修がありました。3月26日~29日の期間、約60名の参加でした。

黒磯高校インターアクトクラブでも、顧問の須藤先生と髙橋さん、野内さん。稲沢さんの生徒、合計4名参加です。

皆さん無事に帰ってきて、集合写真を頂きましたので掲載します。



4月24日欠席(敬称略)

荒井昌一・大森貞男・吉光寺政雄・黒澤洋一 髙木茂・戸野俊介・和気勝利・髙木慶一 前回 4月10日分メークアップ(敬称略) 該当なし

次回例会 令和1年5月15日 担当 青少年奉仕委員会

近隣クラブ例会日

○ 火曜日 西那須野/いとう屋

○ 水曜日 塩原/塩原カントリークラブ

○ 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館

0287-36-0028 0287-35-2211 0287-23-4165 近隣クラブ例会日

○ 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 ○ 木曜日 那須/ホテルエピナール那須

○ 金曜日 黒羽/ホテル花月

0287-24-2525 0287-78-6000 0287-54-1105

会報委員会:稲垣政一・和気勝利・秋間 忍・藤﨑善隆